

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
252、ブ25、 572	『伊賀越道中双六』初演番付	資料					①天明3年4月 ③上演資料集<252>は高木浩志蔵、<ブ25><572>は 文楽協会蔵（山城少椽文庫）
ブ25	天明三年九月九日興行番付	資料					①天明3年9月 ③東京大学総合図書館蔵
ブ6	絵本番付「文楽草紙」第16編	資料					①明治15年11月 ④和田喜版
	明治の東京 六、熱い視線 *新声館の評判	劇評	挹翠軒主人		東京の人形浄瑠璃		①平成3年2月 ④日本芸術文化振興会 ③演芸資料選書・5。倉田喜弘＝編。明治28年2月 東京新声館所演の評「文芸倶楽部」第3編
	義太夫借用帳 （六）千箱の玉	参考	丁子舎		演芸世界	第2号	①明治34年4月 ④演芸世界社
	伊賀越実説	参考	まつ		演芸世界	第6号	①明治34年8月 ④演芸世界社
	義太夫借用帳 （十八）大内記の謡	参考	丁字舎		演芸世界	第7号	①明治34年9月 ④演芸世界社
	義太夫評判記 （其四）岡太夫の帯屋	評論	鬼太郎		演芸世界	第19号	①明治35年9月 ④演芸世界社 ③豊竹岡太夫の「沼津」
252	附録 語方の実例 伊賀越道中双六 沼津の段	演出	岡鬼太郎		義太夫秘訣		①明治36年3月 ④服部書店 ③明治39年6月富田文陽堂より第2版、大正10年9 月野村青雲堂より第4版
					岡鬼太郎花柳文芸 名作選	9義太夫 秘訣	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③明治36年3月服部書店版の復刻
			近世文芸研究叢書刊 行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃 素人講釈』を収録
	附録 語方の実例 伊賀越道中双六 岡崎の段	演出	岡鬼太郎		義太夫秘訣		①明治36年3月 ④服部書店 ③明治39年6月富田文陽堂より第2版、大正10年9 月野村青雲堂より第4版
					岡鬼太郎花柳文芸 名作選	9義太夫 秘訣	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③明治36年3月服部書店版の復刻
			近世文芸研究叢書刊 行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃 素人講釈』を収録

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	伊賀越 六ツ目 沼津の里の段	注釈	蓼沼祐太郎・山沢簡 ＝編		義太夫難句詳解	前編	①明治37年2月 ④田沼書店
	「伊賀越道中双六」 * 沼津の段に就いて * 新関の段に就いて * 岡崎の段に就いて	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲/百段語り物の 訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
	○浄瑠璃、疑問五則に就いて	批評 劇評	円八仙		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第50号	①明治39年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治39年6月御霊文楽座所演
	伊賀越道中双六 沼津の段	芸評	岩田徳義		東京/大阪義太夫芸 評	上巻	①明治40年12月 ④教育奨励会 ③竹本大島太夫評
	文楽座五月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第76号	①明治42年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治42年5月御霊文楽座所演
	伊賀越仇討の実説	実説	熊谷無漏		実説文庫	第1篇	①明治44年5月 ④朝陽社
	伊賀越道中双六（沼津の場）	解説 梗概	劇道研究会＝編		古/今名劇二百種	第1集	①明治44年6月 ④金港堂書籍
	近松座（大正元年9月20日）	劇評			義太夫年表 大正 篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正1年9月近松座所演。「毎日新聞」の記事を 転載
	◎近松座第五回興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第109号	①大正1年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正1年9月近松座所演
	第二種 伊賀越道中双六 * 沼津の里の段 * 岡崎の段	梗概 批評	徳島県教育会		義太夫調査書		①大正2年4月 ④徳島県教育会 ③大正2年7月増補訂正再版
	●文楽座五月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第131号	①大正3年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正3年5月御霊文楽座所演
	御霊文楽座（大正4年2月10日）	劇評			義太夫年表 大正 篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正4年2月御霊文楽座所演。「朝日新聞」の記 事を転載
	講壇 伊賀越道中双六岡崎の段	語釈	月廻舎掬水		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第140号	①大正4年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	文楽座の二月興行	劇評					③大正4年2月御霊文楽座所演
	講壇 伊賀越道中双六沼津の段	語釈	月廻舎掬水		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第145・ 146号	①大正4年7・8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	講壇 伊賀越道中双六婚礼之段	語釈	月廻舎掬水		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第148・ 149号	①大正4年10・11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	近松座身振劇	劇評			浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第161号	①大正5年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正5年11月近松座所演
	●竹豊座二の替り	劇評			浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第165号	①大正6年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正6年3月京都竹豊座所演
	御霊文楽座（大正6年6月20日）	劇評			義太夫年表 大正 篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正6年6月御霊文楽座所演。「毎日新聞」の記事を転載 ③「朝日新聞」の記事を転載
	お米と平作一戯曲中の人物研究一 「沼津」私見	研究 評論	岡本綺堂 三宅周太郎		演芸画報 演劇往来	第5年 第5号	①大正7年5月 ④演芸倶楽部 ①大正11年2月 ④新潮社
	伊賀の水月	考証	三田村玄龍（鳶魚）		日本及日本人 大名生活の内秘 人さまざま 三田村鳶魚全集	秋季臨時 増刊号 江戸ばなし 第19冊 第1巻	①大正7年9月 ④政教社 ①天正10年3月 ④早稲田大学出版部 ①昭和34年2月 ④青蛙房 ①昭和51年2月 ④中央公論社
	「伊賀越」へ出る人々	実説	三田村鳶魚		新演芸	第4巻 第4号	①大正8年4月 ④玄文社
	御霊文楽座（大正9年5月1日）	劇評			義太夫年表 大正 篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正9年5月御霊文楽座所演。「毎日新聞」の記事を転載
4、102、 147、210、 プ6、252、 506	伊賀越道中双六 六ツ目切 沼津里の段	演出	杉山其日庵 近世文芸研究叢書刊 行会＝編		黒白 浄瑠璃素人講釈 近世文芸研究叢書 第二期芸能篇25 浄瑠璃5	34号	①大正9年1月 ④黒白発行所 ①大正15年11月 ④黒白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻版 ①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講釈』を収録

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
525			杉山其日庵＝著／内 山美樹子・桜井弘＝ 編		浄瑠璃素人講釈	(下)	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・人名索引付載
	竹豊座覗き	劇評			浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第198号	①大正9年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正9年10月京都竹豊座所演（短評）
4、135、252	伊賀越道中双六 八ツ目切 岡崎雪降の段	演出	杉山其日庵		黑白	49号	①大正10年4月 ④黑白発行所
			近世文芸研究叢書刊 行会＝編		浄瑠璃素人講釈		①大正15年11月 ④黑白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻版
			杉山其日庵＝著／内 山美樹子・桜井弘＝ 編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃 素人講釈』を収録
					浄瑠璃素人講釈	(下)	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・人名索引付載
	戯曲物語 沼津の一夜	梗概	伊東英子		演芸画報	第9年 第8号	①大正11年8月 ④演芸倶楽部
	御霊文楽座（大正12年2月6日）	劇評			義太夫年表 大正 篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正12年2月御霊文楽座所演（短評）。「毎日 新聞」の記事を転載
	読後感 一伊賀越道中双六一	批評	蝸牛楼		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第220号	①大正12年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	伊賀越道中双六『沼津』の考察 * 沼津の幻影 * 『沼津』を演ずる俳優へ	評論	岡本綺堂 畑耕一		演芸画報	第18年 第1号	①大正13年1月 ④演芸画報社
	第二部 劇評その他 * 文楽三題 一、十四年八月の文楽	劇評	三宅周太郎		演劇評話		①昭和3年3月 ④新潮社 ③大正14年7月東京歌舞伎座所演（短評）
	中座（大正14年10月1日）	劇評			義太夫年表 大正 篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正14年10月中座所演（短評）。「毎日新聞」 の記事を転載
	=文楽座の巻= 伊賀越道中双六	見た まま	山上貞一		芝居見たまゝ二十 五番集		①昭和4年10月 ④創元社 ③大正14年10月中座所演の見たまま

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	◎御霊文楽座の盆替り興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第254号	①大正15年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正15年9月御霊文楽座所演
	歌舞伎劇についての一考察	評論	和辻哲郎		日本精神史研究		①大正15年10月 ④岩波書店 ③平成4年12月岩波文庫、平成17年2月ワイド版岩 波文庫刊
					和辻哲郎全集	第4巻	①昭和37年2月 ④岩波書店
	沼津の平作	解説 小説 化	渋谷吾往齋		劇と史実		①昭和2年4月 ④聚文館
					日本演劇物語史		①昭和15年1月 ④内外出版社 ③『劇と史実』の改題復刊
	◎文楽座如月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第267号	①昭和3年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和3年2月弁天座所演
	愚見雑感	投書	(3) 竹本津太夫		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第269号	①昭和3年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③『浪花/名物浄瑠璃雑誌』第267号掲載の批評 に対する反論
	竹本津太夫に勧む	評論	樋口吾笑		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第270号	①昭和3年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③(3) 竹本津太夫の反論に対する評論
	文楽新聞評抜萃 一、昭和三年七月 *新橋演舞場 第一回 下	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和3年7月東京新橋演舞場所演(短評)
	批評と追悼 人形浄瑠璃と芝居との「賀の祝」				続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84
					新編続文楽の研究		①昭和23年6月改訂 ④創元社 ③創元選書84
					定本続文楽の研究		①昭和27年6月 ④創元社 ③創元文庫
					続文楽の研究		①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
							①平成17年9月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説「三宅周太郎の文楽考現学」（児玉竜一）付載
4、135、252	文楽新聞評抜萃 二、昭和三年十二月 *新橋演舞場 その第三回 ----- 批評と追悼 「伊賀越の岡崎の段」 ----- ----- ----- -----	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和3年12月東京新橋演舞場所演
					続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84
					新編続文楽の研究		①昭和23年6月改訂 ④創元社 ③創元選書84
					定本続文楽の研究		①昭和27年6月 ④創元社 ③創元文庫
					続文楽の研究		①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫
							①平成17年9月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説「三宅周太郎の文楽考現学」（児玉竜一）付載
	伊賀越道中双六	解説	黒木勘蔵		日本名著全集 第一期出版 江戸文芸之部	第7巻 浄瑠璃名作集下	①昭和4年2月 ④日本名著全集刊行会
210	近松以後名作解題 伊賀越道中双六				近松以後		①昭和17年9月 ④大東出版社 ③大東名著選42
	文楽新聞評抜粹 三、昭和四年七月 *新橋演舞場第一回	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和4年7月東京新橋演舞場所演（短評）
	文楽の人々	劇評	岡鬼太郎		歌舞伎と文楽		①昭和18年5月 ④三田文学出版部 ③昭和4年7月東京新橋演舞場所演
					岡鬼太郎花柳文芸名作選	12歌舞伎と文楽	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③昭和18年5月三田文学出版部版の復刻
	◎六月の文楽座	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第292号	①昭和5年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和5年6月四ツ橋文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	語り場分割の英断	劇評	石割松太郎		演芸月刊	第13輯	①昭和5年6月 ④演芸月刊社 ③昭和5年6月四ツ橋文楽座所演
	第四部 新聞劇評抜粋 * 東劇・「文楽」来る	劇評	三宅周太郎		演劇巡礼		①昭和10年5月 ④中央公論社 ③昭和5年8月東京東京劇場（素浄瑠璃）所演（短評）
	人形芝居の研究 四、番付の読み方一太夫の部（三）一	解説	石割松太郎		人形芝居雑話		①昭和5年10月 ④春陽堂 ③「沼津」の小あげ
					人形芝居の研究		①昭和8年10月 ④更生閣
							①昭和18年11月 ④修文館 ③石割松太郎選集
	珍しい千本の四段目	劇評	石割松太郎		演芸月刊	第22輯	①昭和6年4月 ④演芸月刊社 ③昭和6年3月四ツ橋文楽座所演
	文楽座三月興行の概評	劇評			浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第301号	①昭和6年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年3月四ツ橋文楽座所演（短評）
	『伊賀越道中双六』の諸相	演出	岡田翠雨		演芸画報	第25年 第12号	①昭和6年12月 ④演芸画報社
	総動員の文楽人形芝居	劇評	安部豊		演芸画報	第26年 第1号	①昭和7年1月 ④演芸画報社 ③昭和6年12月東京明治座所演（短評）
ブ6	非常時の文楽座	劇評	上沼道之助		演芸画報	第27年 第5号	①昭和8年5月 ④演芸画報社 ③昭和8年4月四ツ橋文楽座所演
	文楽見たまま聞いたままの記	劇評	金光明川		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第329号	①昭和9年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和8年12月東京歌舞伎座所演
	総動員の人形浄瑠璃 歌舞伎座の師走 興行	劇評	安部豊		演芸画報	第28年 第1号	①昭和9年1月 ④演芸画報社 ③昭和8年12月東京歌舞伎座所演
252	浄るりの「形式」と浄るりの「風」 十、浄るりの「風」といふ事	研究	石割松太郎		近世演劇雑考		①昭和9年9月 ④岡倉書房
					人形芝居の研究		①昭和18年11月 ④修文館 ③石割松太郎選集

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
252	浄るり「曲風」の発生と、今日批判の標準	批評	石割松太郎		近世演劇雑考		①昭和9年9月 ④岡倉書房
					人形芝居の研究		①昭和18年11月 ④修文館 ③石割松太郎選集
210	第一編 芸の生涯 二、修行時代 * 悪声家の秘訣	芸談	木谷正之助（蓬吟）		五世竹本弥太夫 芸の六十年		①昭和9年10月 ④私家版 ③『山城少掾聞書』（昭和24年8月・和敬書店） 「浄曲秘訣（一）」中に引用所収
4、210、252	* 沼津の平作 * 特色漸く認めらる			竹本角太夫 （5）竹本 重太夫			③「北国屋の段」 ③「北国屋の段」
	第二編 人物と芸格 一、弥太夫の人と芸と * 四、温厚と厳正 * 八、生きてゐる平作			(1) 吉田栄 三 (4) 鶴沢叶 (2) 鶴沢 清八			③(5) 竹本弥太夫の平作
4、135、252	* 一七、弥太夫風九曲の解剖 * 伊賀越 岡崎の段			福田糠昇			③(5) 竹本住太夫の沼津の稽古の話、上演資料 集は各々摘録
4、252	* 四、座蒲団抱いて寝てお稽古 * 一四、ビリ／＼と障子へ声が			日下伊兵衛			③(5) 弥太夫の平作
	歌舞伎劇のクライマックス 沼津	解説	久保琴舟		演芸画報	第29年 第1号	①昭和10年1月 ④演芸画報社
	荒木又右衛門	実説	笹川臨風＝監修解説		類/聚伝記大日本史	第10巻 義人・武 侠篇	①昭和11年9月 ④雄山閣 ③昭和56年4月雄山閣出版より復刻版
	文楽座の人形浄瑠璃 土佐太夫引退興 行	劇評	安部豊		演芸画報	第31年 第7号	①昭和12年7月 ④演芸画報社 ③昭和12年6月東京明治座所演
	三、彦六座時代 * 「西郷隆盛」の浄瑠璃	芸談	鴻池幸武＝編	(1) 吉田栄 三	吉田栄三自伝		①昭和13年11月 ④相模書房 ③昭和23年5月武智鐵二の序等を加え和敬書店よ り再版。明治21年9月彦六座でのおちを遣ったこ と
	五、稻荷座時代 * 京極内匠の代役						③明治30年3月稻荷座所演の(5) 竹本弥太夫の 「沼津」
	九、文楽座へ復帰 * 戦争当込み * 夕しでの出						③明治37年3月御霊文楽座所演、「遠眼鏡」の戦 争当込み
4、102、 147、210	十、松竹さんになってから * 初役の重兵衛						③明治39年6月御霊文楽座所演、紋十郎の大内記 ③明治42年5月御霊文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
4、102、 147、210	* 大塚さんの「沼津」 ----- * 「河庄」の出 ----- * 四国へ巡業 ----- * 歌舞伎座の大舞台 ----- 十三、芸談						③明治44年4月御霊文楽座所演 ----- ③大正4年2月御霊文楽座所演、新関引抜団子売 ③大正14年3月京都新京極文楽座で初役の平作 ③大正14年夏東京歌舞伎座へ出勤、舞台が広すぎて早く出なければならないこと ----- ③重兵衛の性根
	明治座の文楽見物	劇評	安部豊		演芸画報	第33年 第4号	①昭和14年4月 ④演芸画報社 ③昭和14年3月東京明治座所演
	五月の木挽町 付・浄瑠璃の「風」に就いて	劇評	鴻池幸武		劇評 ----- 鴻池幸武文楽批評 集成	第4集	①昭和14年7月 ④劇評発行所 ③武智鐵二＝著並編。「沼津」の風について ----- ①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	駒太夫の沼津	劇評	吐声子		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第382号	①昭和14年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③8月29日都市放送（三味線は清次郎）の評
	浄瑠璃を打毀す人形	演出	斎藤拳三		演芸画報	第33年 第9号	①昭和14年9月 ④演芸画報社 ③（1）吉田玉幸の話
252、ブ25	文楽座霜月興行合評記	合評	鴻池幸武／武智鐵二 ／森下辰之助／樋口 吾笑		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌 ----- 鴻池幸武文楽批評 集成	第384号	①昭和14年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和14年11月四ツ橋文楽座所演 ----- ①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	豊竹古靱大夫の「岡崎」を聴いて	劇評	太宰施門		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第384号	①昭和14年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和14年11月四ツ橋文楽座所演
	冥府演劇通話（9）	雑話	草の屋主人		演芸画報	第33年 第12号	①昭和14年12月 ④演芸画報社 ③（4）竹本大隅太夫の「岡崎」
	芸の秘訣 「笑ひ五年」に「泣き七年」浄瑠璃のこ ツはここ	芸談	黒崎貞治郎	(3) 竹本津 太夫	芸談百話		①昭和15年2月 ④博文館 ③平作の落ち入り
	近江清華様に	評論	武智鐵二		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第387号	①昭和15年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近江清華様へ				かりの翅		①昭和16年4月 ④千歳書房 ③昭和44年2月学芸書林より改訂再版
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	芝居の代表作（五） 「野崎村」と「沼津」其他	随想	太宰施門		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第390号	①昭和15年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	敵討の話 * 伊賀越敵討の場合 * 遺憾なき伊賀越の桜井半兵衛	実説	三田村鳶魚		江戸読本		①昭和15年7～9月 ④江戸読本社
					江戸ばなし	其一	①昭和17年10月 ④大東出版社
					武家の生活	江戸ばなし 第5冊	①昭和31年9月 ④青蛙房
					江戸ばなし	第2巻	①昭和40年12月 ④青蛙房
					三田村鳶魚全集	第4巻	①昭和51年3月 ④中央公論社
	東京の文楽素浄瑠璃	劇評	岡田蝶花形		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第394号	①昭和15年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和15年9月東京新橋演舞場所演、素浄瑠璃評 (短評)
	近松半二と穂積以貫一この子この親一	研究	木谷蓬吟		浄瑠璃研究書		①昭和16年3月 ④第一書房
	『私の沼津』	芸談		(3) 竹本津 太夫	上方	125号	①昭和16年5月 ④創元社 ③『文楽の鑑賞』（昭和19年1月・畝傍書房）に 収録
						第10巻 (下)	①昭和45年10月 ④新和出版社 ③上方刊行会＝監修
	一編輯余談一 沼津は晴か雨か	座談 会	林秀雄・大西重孝・ 樋口悟笑・武智鐵 二・森ほのほ・鴻池 幸武・山本修二・辻 部円三郎		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第402号	①昭和16年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
					鴻池幸武文楽批評 集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	大阪二座見物記 中座と文楽座	劇評	安部豊		演芸画報	第35年 第10号	①昭和16年10月 ④演芸画報社 ③昭和16年9月四ツ橋文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	盆替り芝居行脚	劇評	鴻池幸武		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第403号	①昭和16年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和16年9月四ツ橋文楽座所演
					鴻池幸武文楽批評 集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	重兵衛の笠	芸談	木葉天狗		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第403号	①昭和16年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③重兵衛が平作に笠をさしかける理由
					鴻池幸武文楽批評 集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
252	『沼津』の小道具図解	図絵	斎藤清二郎		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第406号	①昭和17年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	『沼津』の重兵衛一人形覚書其九一	演出	大西重孝				③(1)吉田栄三の十兵衛(昭和16年9月四ツ橋文 楽座所演)
210、252、 395、506	栄三の舞台 伊賀越道中双六 沼津の段ー栄三の十兵 衛一				文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③初出に人形扮装表と浄瑠璃本文を併載。上演資 料集<506>は現行の演出との対比あり
	歌舞伎にあらはれた義理人情 「沼津」と「吉野川」の場合	評論	大山功		演芸画報	第36年 第1号	①昭和17年1月 ④演芸画報社
	芸談 文楽鑑賞(一) 「伊賀越道中双六」岡崎の段	芸談	山口廣一	(2)豊竹古 鞞太夫(豊竹 山城少掾)	演芸画報	第36卷 第2号	①昭和17年2月 ④演芸画報社 ③『文楽の鑑賞』(昭和19年1月・歎傍書房)に 収録
	鶴沢叶・聞書 * 摂津大掾さんの不興	芸談	茶谷半次郎	(4)鶴沢叶 (2)鶴沢 清八)	聞書 芸と文学		①昭和17年6月 ④全国書房 ③(5)竹本春太夫の「相合傘」の稽古
					文楽聞書		①昭和21年5月 ④全国書房
	第四章 劇的局面論 一 時代物系の局面 (四) 仇討の局面 6「伊賀越乗掛合羽」と「伊賀越道中双 六」の比較検討	研究	中村吉蔵		日本戯曲技巧論		①昭和17年7月 ④中央公論社
	伊賀越の仇討	実説	直木三十五		日本仇討物語	下	①昭和17年7月 ④紫文閣
	文楽と大阪文化(二)	随想	太宰施門		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第411号	①昭和17年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	名作浄瑠璃解説 伊賀越道中双六	解説 梗概	(6) 竹本住太夫		文楽浄瑠璃物語		①昭和18年2月 ④正文館書店 ③(6) 竹本住太夫文楽生活年表付載。「平作内の段・千本松の段」本文と頭注付載
			(9) 竹本文字大夫 (7) 竹本住太夫)・佐藤靄子		六代竹本住大夫		①昭和57年7月 ④青蛙房 ③(6) 竹本住大夫舞台年譜(佐藤靄子=編)付載。本文と頭注を削除して収録
	文楽生活四十年 *師越路太夫の死と紋下	芸談	(6) 竹本住太夫		文楽浄瑠璃物語		①昭和18年2月 ④正文館書店 ③大正4年2月御霊文楽座所演で(3) 竹本越路太夫の代役を勤めたこと
			(9) 竹本文字大夫 (7) 竹本住太夫)・佐藤靄子		六代竹本住大夫		①昭和57年7月 ④青蛙房 ③(6) 竹本住大夫舞台年譜(佐藤靄子=編)付載。本文と頭注を削除して収録
	血の出るやうな難行苦行記	芸談	木谷蓬吟		文楽史		①昭和18年2月 ④全国書房 ③(5) 竹本弥太夫の「沼津」
	芸談 文楽鑑賞(十四) 『沼津』=伊賀越道中双六=	芸談	山口廣一	(6) 鶴沢友次郎	演芸画報	第37年 第3号	①昭和18年3月 ④演芸画報社
4、102、 147、210、 ブ6、525	伊賀越道中双六 六段目「沼津」				文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房
	千本道行と沼津	劇評	武智鐵二		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第418号	①昭和18年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和18年2月四ツ橋文楽座所演
					蜀犬抄		①昭和25年4月 ④和敬書店
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	文楽評切抜帳(二月) *嫩軍記の通しと古靄の『沼津』 *古靄の原文主義 *文楽の英断 *朝日賞の文楽	劇評	西尾福三郎(読売報知) 山(毎日新聞) (大阪新聞) K(朝日新聞)		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第418号	①昭和18年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和18年2月四ツ橋文楽座所演(短評)
	文楽評切抜帳(五月) *文楽本領を發揮す一絶品古靄の「岡崎」 *古靄に献言 文楽の伊賀越岡崎	劇評	山口廣一(毎日新聞) (大阪新聞)		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第421号	①昭和18年7月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和18年5月四ツ橋文楽座所演
252	「岡崎」小道具図解	図絵	斎藤清二郎		浪花/名物 浄瑠璃 雑誌	第421・ 422号	①昭和18年7・10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
プ25	『岡崎』の政右衛門（人形覚書）	演出	大西重孝				③（1）吉田栄三の政右衛門（昭和18年5月四ツ橋文楽座所演）
252、395	栄三の舞台 伊賀越道中双六 岡崎の段—栄三の政右衛門—				文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③初出に人形扮装表と浄瑠璃本文を併載
102、135、 147、210、 プ6、525	伊賀越道中双六	解説	山口廣一		文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版
4、102、 147、210、 プ6、525	伊賀越道中双六 六段目「沼津」	芸談		(6) 鶴沢友次郎			③初出＝『演芸画報』昭和18年3月号
102、147、 210、プ6	『私の沼津』			(3) 竹本津太夫			③初出＝『上方』125号（昭和16年5月）
4、135	伊賀越道中双六 八段目「岡崎」			(2) 豊竹古鞠太夫（豊竹山城少掾）			③初出＝『演芸画報』昭和17年2月号
	中野源松さん	芸談	鴻池幸武	(1) 鶴沢道八	道八芸談		①昭和19年1月 ④私家版 ③武智鐵二の注解を付載して昭和62年11月ペリカン社より復刊、日本芸術名著選4。「沼津」の松林の工夫
	第六章 近松半二 四、他の技巧	研究	園田民雄		浄瑠璃作者の研究		①昭和19年2月 ④東京堂
	柳かけ（承前）—吉田栄三の憶ひ出—	芸談	花柳章太郎	(1) 吉田栄三	演劇界	第4巻 第3号	①昭和21年3月 ④日本演劇社 ③「沼津」
					鴻池幸武文楽批評 集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	三味線弾きと爪	芸談	団六改メ（10）竹沢弥七		幕間（別冊文楽号）	第15号	①昭和22年7月 ④和敬書店 ③（3）鶴沢清六の「沼津」
	文楽芸談 多為蔵さんの御恩		(5) 桐竹門造				③平作の左を遣った時のこと
	津太夫追善狂言	劇評	大西重孝		幕間	第3巻 第1号	①昭和23年1月 ④和敬書店 ③昭和22年12月四ツ橋文楽座所演
	ずいひつ 吉田栄三郎のこと	随筆	大江良太郎		文楽	第3巻 第2号	①昭和23年2月 ④誠光社 ③吉田栄三郎のおよね
	義太夫レコードの事	研究	安原仙三				③（3）竹本津太夫の「沼津」のレコード

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	師走の京阪 十二月京阪劇信	劇評	高谷伸				③昭和22年12月四ツ橋文楽座所演（一言）
	むかしの師匠たち（その三） 三代目竹本越路太のこと＝私の大序時代 から＝	芸談	(8) 竹本綱大夫		文楽改題 芝居手 帖	第4巻 第1号	①昭和24年1月 ③誠光社
	義太夫国紳士録 * 三世竹本越路大夫師一勘当チャンピ オン				芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房
	義太夫の「風」の倫理	研究	武智鐵二		劇場	第1号	①昭和24年2月 ④演劇文化社 ③住太夫風
	『風』の倫理				歌舞伎の黎明		①昭和30年7月 ④青泉社
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞 踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	歌舞伎百選 5 伊賀越道中双六	解説	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店
210	忘れ得ぬひとびと	芸談	茶谷半次郎	豊竹山城少掾	山城少掾闇書		①昭和24年8月 ④和敬書店 ③「沼津」の風、上演資料集<210>は摘録、他に 有楽座での話
4、135、 252、プ25	「岡崎」について						③『五世竹本弥太夫 芸の六十年』（昭和9年10 月・木谷正之助）の「悪声家の秘訣」「沼津の平 作」を引用所収
	浄曲秘訣（一）						
	文楽・残光の美	劇評	安藤鶴夫		安藤鶴夫作品集	Ⅲ芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③昭和24年10月東京帝国劇場所演。初出＝「スク リーン・ステージ」。平成9年3月復刻版。『文楽 日本の伝統』『古楽芸談』『桐竹紋十郎』『芸と 人』『芸について』他を収録
	文楽の場合	演出	大西重孝		演劇界	第7巻 第11号	①昭和24年11月 ④日本演劇社 ③吉田万次郎の小道具の工夫
	文楽と初代栄三 文楽の場合				文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会
カ54	伊賀越道中双六	解説 梗概	黒木勘蔵		増補/改訂日本文学 大辞典	第1巻	①昭和25年2月 ④新潮社
カ54	伊賀越	参考	秋葉芳美				③藤村作＝編纂

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	私の芸談 * 師匠の型	芸談	(2) 吉田栄三		幕間	第5巻 第5号	①昭和25年5月 ④和敬書店 ③十兵衛
	文楽の安定感	劇評	沼艸雨				③昭和25年4月四ツ橋文楽座所演
	沼津、次いで本下 四、六月の文楽座	劇評	大西重孝		観照	第27号	①昭和25年10月 ④観照社 ③昭和25年4月四ツ橋文楽座所演
	近松半二の脚色譜表	研究	守隨憲治		国語と国文学	第28巻 第3号	①昭和26年3月 ④至文堂
					守隨憲治著作集	第4巻	①昭和54年2月 ④笠間書院
4、102、147	幕間随想 * 好きな「沼津」	芸談	(6) 竹本住太夫		幕間	第6巻 第9号	①昭和26年9月 ④幕間和敬書店
	文楽人形用語(二) * ハラ・ハラ六法	演出	大西重孝／三村幸一 ＝撮影		舞台展望	第1巻 第5号	①昭和26年11月 ④舞台すがた社 ③「岡崎」の政右衛門
	3 人形の基本的な型 * ハラ・ハラ六方				文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編。『舞台展望』第1巻第5号掲載文より抜粋
	2 人形の基本 人形の型(演技) * ハラ・ハラ六方				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	文楽人形用語(五) * ネジ	演出	大西重孝／三村幸一 ＝撮影		舞台展望	第2巻 第2号	①昭和27年2月 ④舞台すがた社 ③「岡崎」の政右衛門
	2 人形の基本 人形の型(演技) * ネジ				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	清六帰る	劇評	吉永孝雄		幕間	第7巻 第6号	①昭和27年6月 ④幕間和敬書店 ③昭和27年5月四ツ橋文楽座所演
	清六復帰の五月の文楽座	劇評	三室騰		舞台展望	第12号	①昭和27年6月(一周年記念号) ④舞台すがた社 ③昭和27年5月四ツ橋文楽座所演(短評)
	平作に寄せる感傷 山城少掾の「沼津」をきいて	劇評	中野孝一		幕間	第7巻 第7号	①昭和27年7月 ④幕間和敬書店 ③昭和27年5月四ツ橋文楽座所演
	文楽夏の陣	劇評	井上甚之助		舞台展望	第14号	①昭和27年8月(9月号) ④舞台すがた社 ③昭和27年8月京都南座所演(短評)

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽人形用語（十四） * マネキ・マネキ六法	演出	大西重孝／三村幸一 ＝撮影		舞台展望	第3巻 第1号	①昭和28年1月 ④舞台展望社 ③「岡崎」の幸兵衛と政右衛門のマネキ
	3 人形の基本的な型 * マネキ・マネキ六方				文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編。『舞台展望』第3巻第1号掲載文より抜粋
	2 人形の基本 人形の型（演技） * マネキ・マネキ六方				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	見どころ聞きどころ 「伊賀越」の劇的構成	解説 研究	吉永孝雄 伊志多一郎		四ツ橋文楽座プロ グラム		①昭和28年5月 ④松竹株式会社事業部
	文楽の伊賀越	劇評	吉永孝雄		舞台展望	第23号	①昭和28年6月 ④舞台展望社 ③昭和28年5月四ツ橋文楽座所演
	「伊賀越」の通し	劇評	鷲尾隆榮		歌舞伎評論	第2巻 第6号	①昭和28年6月 ④歌舞伎評論社 ③昭和28年5月四ツ橋文楽座所演
	七十七年ぶりの「伊賀越」	劇評	大鋸時生		幕間	第8巻 第6号	①昭和28年6月 ④幕間和敬書店 ③昭和28年5月四ツ橋文楽座所演
	文楽用語の解説 立端場・小揚げ	解説	吉永孝雄		幕間	第8巻 第8号	①昭和28年8月 ④幕間和敬書店
	伊賀越	解説	戸板康二		歌舞伎ダイジェス ト		①昭和29年3月 ④暮しの手帖社 ③A二つの伊賀越、Bまんじゅう娘、C老いたる雲助、D印籠、E千本松原、F遠めがね、G岡崎、H抱き子、I実録、昭和40年7月改編新版
	共に“文楽”の一の替り	劇評	安藤鶴夫		演劇界	第12巻 第7号	①昭和29年7月 ④演劇出版社 ③昭和29年6月東京新橋演舞場所演
	利かぬ御馳走づくめ	劇評	大鋸時生		幕間	第9巻 第12号	①昭和29年12月 ④幕間和敬書店 ③昭和29年11月四ツ橋文楽座所演
	文楽座だより 『国姓爺』など名作揃ふ	劇評	大西重孝		演劇界	第12巻 第13号	①昭和29年12月 ④演劇出版社 ③昭和29年11月四ツ橋文楽座所演（短評）
	54年度演劇界回顧座談会「お蝶夫人」と 「夕鶴」問題の尾を曳くもの一演劇独占 と家元制の罪一 やめてほしい「時雨の炬燵」	劇評	北岸佑吉・沼艸雨・ 大鋸時生・武智鐵 二・辻部政太郎 権藤芳一		演劇評論	第3巻 第1号	①昭和30年1月 ④演劇評論社 ③昭和29年11月四ツ橋文楽座所演（短評）

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	芸術祭参加 文楽合同公演	劇評	内海繁太郎		幕間	第10巻 第12号	①昭和30年12月 ④幕間和敬書店 ③昭和30年11月6日東京新橋演舞場所演（短評）
	亡ぶるからには荘厳に	劇評	沼艸雨		幕間	第11巻 第8号	①昭和31年8月 ④幕間和敬書店 ③昭和31年7月道頓堀文楽座所演
	絢爛の「山」と枯淡の「沼津」	劇評	吉永孝雄		幕間	第13巻 第4号	①昭和33年4月 ④幕間和敬書店 ③昭和33年3月道頓堀文楽座所演
	1 浄瑠璃の作者と作品 爛熟期の竹本座作者 近松半二 * 伊賀越道中双六	解説	大西重孝・吉永孝雄		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③三村幸一＝写真、文楽座＝編
	2 名作の舞台 * 伊賀越道中双六	解説 写真					
	3 入形の基本的な型 * ハラ・ハラ六方 * マネキ・マネキ六方	解説	大西重孝				③『舞台展望』第1巻第5号（昭和26年11月・舞台 すがた社）掲載文より抜粋 ③『舞台展望』第3巻第1号（昭和28年1月・舞台 展望社）掲載文より抜粋
	* 伊賀越道中双六 * 伊賀越物	解説 梗概	林京平		演劇百科大事典	第1巻	①昭和35年3月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
	五代大隅襲名と四代清六の死	劇評	吉永孝雄		幕間	第15巻 第6号	①昭和35年6月 ④幕間和敬書店 ③昭和35年4・5月道頓堀文楽座所演
	関西の焦点 文楽の末期的症状	劇評	北岸佑吉		演劇界	第20巻 第3号	①昭和37年3月 ④演劇出版社 ③昭和37年1月道頓堀文楽座所演（短評）
	でんでん虫夜話 こわいお客とじわのくる役者	芸談	(8) 竹本綱大夫		でんでん虫		①昭和39年6月 ④布井書房 ③15歳のときの「沼津」
	美しい言葉を求む	劇評	堂本正樹		演劇界	第23巻 第2号	①昭和40年2月 ④演劇出版社 ③昭和40年1月東京三越劇場所演（短評）
	伊賀越道中双六	解説	祐田善雄＝校注		文楽浄瑠璃集		①昭和40年4月 ④岩波書店 ③日本古典文学大系99

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	伊賀越乗掛合羽	参考 研究	井口洋		国語国文	第34巻 第11号	①昭和40年11月 ④中央図書出版社 ③京都大学文学部国語学国文学研究室＝編
	義太夫国紳士録 *三世竹本越路大夫師一勘当チャンピオン *祖父師七世竹本綱大夫一法善寺の師匠 *六世野沢吉兵衛師匠一仏の師匠	芸談	(8) 竹本綱大夫		芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房 ③初出＝『文楽改題 芝居手帖』第4巻第1号 ③「岡崎」の三味線
	仇討もの (二六) 伊賀越仇討の実説	考証	荒川秀俊		新・江戸の実話<実 事譚の世界>	2	①昭和41年10月 ④桃源社 ③桃源選書
					江戸の実話 <実 事譚の世界>	2	①昭和51年5月 ④桃源社 ③桃源社新書
4、310、506 4	実説伊賀の仇討 附・「道中双六」のな りたち 豆辞典	参考	長田午狂 松井		国立劇場上演資料 集	4	①昭和42年3月 ④国立劇場
	「伊賀越道中双六」の通し 「饅頭娘」と「伏見舟宿」	鑑賞	三宅周太郎		国立劇場文楽公演 解説書	第2回	①昭和42年3月 ④国立劇場事業部
	「伊賀越」の通し復活について 本公演の舞台について 大新の道具帳	演出	山田庄一				
252	実説・講談・舞台	参考	長田午狂				③「国立劇場文楽公演解説書」第77回に抜粋して 再掲
	文楽の首シリーズ2	解説	斉藤清二郎				
	『伊賀越道中双六』の通し	劇評	河野多恵子		演劇界	第25巻 第4号	①昭和42年4月 ④演劇出版社 ③昭和42年3月東京国立劇場小劇場所演
	「伊賀越」の展開―「乗掛合羽」から 「道中双六」へ	考察	井口洋		演劇研究会会報	第3号	①昭和42年5月 ④演劇研究会
	演劇時評 伝統演劇の周辺6 語るとのこと *法城を護る人びと	芸談	武智鐵二		テアトロ	第34年 第5号	①昭和42年5月 ④テアトロ ③豊竹山城少掾の「岡崎」
	Ⅱ 伝統演劇の周辺 6語るとのこと *法城を護る人びと				伝統演劇の発想		①昭和42年8月 ④芳賀書店
	荒木又右衛門の三十六番斬り―血闘鍵屋 の辻―	実説 史跡			伝説と奇談	第6集 近畿②	①昭和42年10月 ④山田書院 ③玉野惣次郎＝制作、寺井守男・他＝編
	文楽の芸術 *名作と名人	芸談	大西重孝		文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社 ③(3) 竹本大隅太夫の逸話

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽を支えた人びと 栄三と文五郎	芸談	内山美樹子		伝統と現代	第5巻 人形芝居	①昭和44年9月 ④学芸書林 ③伝統芸術の会・河竹登志夫＝編、(1)吉田栄三の重兵衛
	「伊賀越道中双六」ノート	研究	井口洋		演劇研究会会報	第9号	①昭和45年6月 ④演劇研究会
	浄瑠璃の芸と風	研究	祐田善雄		浄瑠璃 語りと操り 浄瑠璃史論考		①昭和45年12月 ④平凡社 ③日本の古典芸能第7巻、芸能史研究会＝編 ①昭和50年8月 ④中央公論社
	近松半二私論	研究	藤井康雄		劇と評論	第15巻 第4号	①昭和46年4月 ④「劇と評論」の会
506	『沼津』芸談雑記	鑑賞 芸談	山口廣一		文楽義太夫伊賀越道中双六沼津の段		①昭和46年カ(レコード発売) ④CBS・ソニーレコード ③LPレコード解説書
506	近松半二の作風について	参考	祐田善雄				
	近松半二「独判断」の翻刻に当って	研究	吉永孝雄		羽衣学園短期大学 紀要 浄瑠璃作品要説	第8号 〈3〉近松半二篇	①昭和47年1月 ④羽衣学園短期大学 ①昭和59年3月 ④国立劇場
	関西通信 連休に屈す	劇評	北岸佑吉		演劇界	第30巻 第7号	①昭和47年6月 ④演劇出版社 ③昭和47年4月朝日座所演(短評)
	近松半二の作風	研究	河竹登志夫		季刊雑誌 歌舞伎 歌舞伎の座標	第5巻 第2号 (通巻第18号)	①昭和47年10月 ④松竹株式会社演劇部 ③特集〈近松半二の人と作品〉 ①昭和52年1月 ④毎日新聞社 ③江戸シリーズ③
	近松半二のドラマツルギー	研究	内山美樹子		季刊雑誌 歌舞伎	第5巻 第2号 (通巻第18号)	①昭和47年10月 ④松竹株式会社演劇部 ③特集〈近松半二の人と作品〉。宝暦明和期の半二戯曲の特色を論じる
	近松半二の舞台性		小笠原恭子				
506	演目解説 伊賀越道中双六 沼津里の段	解説	武智鐵二		土門拳 文楽 定本・武智歌舞伎		①昭和47年12月 ④駿々堂出版 ③別冊『土門拳文楽 その背景』に収録 ③文楽舞踊 ①昭和54年8月 ④三一書房

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					土門拳全集	6文楽	①昭和60年11月 ④小学館 ③〈見所〉は省く。表記は「沼津の段」
	漸衰期の浄瑠璃・近松半二	研究	船曳政夫		国語国文	第42巻 第6号	①昭和48年6月 ④中央図書出版社 ③京都大学文学部国語学国文学研究室＝編
	近松半二小考―“奥州安達原”を手がかりとして―	批評	青江舜二郎		芸能	第15巻 第6号	①昭和48年6月 ④芸能発行所
	「近松半二小考」について	批評	内山美樹子		芸能	第15巻 第8号	①昭和48年8月 ④芸能発行所
	私の古典鑑賞 沼津	鑑賞	渡辺保		演劇界	第31巻 第11号	①昭和48年10月 ④演劇出版社
	運命が仕掛けた罠―『伊賀越道中双六』― (沼津)				歌舞伎という宇宙 私の古典鑑賞		①平成3年4月 ④筑摩書房
	五章 圧倒する迫力 時代物 伊賀越道中双六	解説	吉永孝雄		カラー文楽の魅力		①昭和49年1月 ④淡交社 ③三村幸一＝写真
	適材で甘美な気品	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き―劇評と 文楽考―		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和49年2月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」昭和49年2月9日
	文字の「春日村」を聞く	劇評	山口廣一		演劇界	第32巻 第3号	①昭和49年3月 ④演劇出版社 ③昭和49年2月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	文楽の風土 18 「伊賀越道中双六」の沼津の段	鑑賞	吉永孝雄		大阪	97	①昭和49年4月 ④大阪府観光連盟 ③『吉永孝雄の私説昭和の文楽』（平成7年5月・ 和泉書院）による
	文楽と初代栄三 文楽の場合	演出	大西重孝		文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③初出＝『演劇界』昭和24年11月号
210、252、 395、506	栄三の舞台 伊賀越道中双六 沼津の段―栄三の十兵衛―						③初出＝『浪花／名物浄瑠璃雑誌』第406号（昭和17年1月）。(1) 吉田栄三の十兵衛（昭和16年9月四ツ橋文楽座所演）、初出に人形扮装表と浄瑠璃本文を併載。上演資料集<506>は現行の演出との対比あり

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
252、プ25、 395	栄三の舞台 伊賀越道中双六 岡崎の段一栄三の政右 衛門一						③初出＝『浪花/名物 浄瑠璃雑誌』第421・422号 (昭和18年7・10月)。(1)吉田栄三の政右衛門 (昭和18年5月四ツ橋文楽座所演)、「浪花/名物 浄瑠璃雑誌」421・422号(昭和18年7・8月)掲載 のものに人形扮装表と浄瑠璃本文を併載。〈プ25〉 は初出を掲載
	関西劇信 道頓堀ガーデン	劇評	北岸佑吉		演劇界	第33巻 第9号	①昭和50年9月 ④演劇出版社 ③昭和50年7月朝日座所演
	「伊賀越道中双六」の唐木政右衛門	鑑賞	景山正隆		國文學 解釈と教 材の研究	第20巻 第15号	①昭和50年11月 ④學燈社 ③11月臨時増刊号。特集〈日本の旅びと101人〉
	伊賀越道中双六 細見	鑑賞	水沼一郎		季刊雑誌 歌舞伎	第9巻 第3号 (通巻第 35号)	①昭和52年1月 ④松竹株式会社演劇部 ③歌舞伎の「見たまま」だが、資料・風俗・研究 等あり
	文楽の型② 「行きつ戻りつ」「ぎば」	演出	I / 青木信二 = 写真		国立劇場文楽公演 解説書	第40回	①昭和52年2月 ④国立劇場事業部
	仇討ものの浄瑠璃	解説	松崎仁				
	リアルな演技、生々しい感動	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き一劇評と 文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和52年2月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」昭和52年2月9日
	岡崎の雪・大安寺の寒月	劇評	杉本嘉代子		演劇界	第35巻 第3号	①昭和52年3月 ④演劇出版社 ③昭和52年2月東京国立劇場小劇場所演
	七七年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九七八 年版	①昭和53年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和52年2月東京国立劇場小劇場所演
	一九七七年の文楽				文楽 二十世紀後 期の輝き一劇評と 文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	近松半二小論	研究	松井今朝子		演劇学	第18号	①昭和52年3月 ④早稲田大学文学部演劇研究室
525	六十歳以後の摂津大掾	鑑賞	内山美樹子		水谷不倒著作集月 報	8	①昭和52年4月 ④中央公論社
310	文楽名作鑑賞 伊賀越道中双六	解説 梗概	山田庄一		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					文楽		①平成2年1月 ④ぎょうせい ③伝統芸能シリーズ3。『文楽入門』の改訂版
	浄瑠璃作者近松半二―浄瑠璃・歌舞伎の 接点における― 研究手帳 近松半二著作年譜と研究の手引	研究	横山正 松井今朝子		藝能史研究 浄瑠璃作品要説	第58号 <3>近松 半二篇	①昭和52年7月 ④藝能史研究会 ③特集〈近松半二〉 ①昭和59年3月 ④国立劇場
	近松半二没年考一付、没地および名字―	研究	角田一郎		帝京大学文学部紀 要	国語国文学 第9号	①昭和52年10月 ④帝京大学文学部国文学科
	山城少掾自伝 一、信条	芸談		豊竹山城少掾	日本の芸談	第3巻 能 狂言 文楽	①昭和53年12月 ④九藝出版 ③「山城少掾自伝」「文五郎芸談」を収む。「沼 津」の風
252	近松半二と作風寸描	研究	横山正		朝日座プログラム		①昭和54年10月 ④文楽協会
	関西劇信 鏡花ものが競演されたが	劇評	大鋸時生		演劇界	第37巻 第14号	①昭和54年12月 ④演劇出版社 ③昭和54年10月朝日座所演
	近松半二の作劇技巧	研究	藤野義雄		近松と最盛期の浄 瑠璃		①昭和55年4月 ④桜楓社
	関西劇通信 意欲作が揃う	劇評	岡崎文		演劇界	第38巻 第14号	①昭和55年12月 ④演劇出版社 ③昭和55年10月朝日座所演（短評）
	思い出集 * 耳にのこる住大夫	随想	井野辺潔		六代竹本住大夫		①昭和57年7月 ④青蛙房 ③(9)竹本文字大夫(7)竹本住大夫・佐藤 靄子=編。(6)竹本住大夫舞台年譜(佐藤靄子 =編)付載。「沼津」の平作
	* 二代つづいた相三味線		佐藤靄子				③「沼津」の平作
	* 住大夫さんを偲んで		(4) 竹本津大夫				③代役で困った話
	* 住大夫師匠を偲ぶ思い出		(2) 野沢勝平 (3) 野沢喜左衛 門)				③「沼津」の胡弓
			(4) 野沢錦糸				③巡業の代役
	* 住大夫さん回想		森晋六				③豊竹山城少掾と(6)竹本住大夫の「沼津」
	文楽浄瑠璃物語 名作浄瑠璃解説 伊賀越道中双六	解説 梗概	(6) 竹本住大夫				③『文楽浄瑠璃物語』(昭和18年2月・正文館書 店)の「平作内の段・千本松の段」の本文を削除 して復刻収録

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽劇信 もうひと押しの若手公演	劇評	桜井弘		演劇界	第41巻 第1号	①昭和58年1月 ④演劇出版社 ③昭和57年12月東京国立劇場小劇場所演（短評）
カ469	伊賀越道中双六	解説 梗概	井口洋		日本古典文学大辞 典	第1巻	①昭和58年10月 ④岩波書店
カ469	伊賀越敵討物		中村幸彦				
カ469	伊賀越乗掛合羽		井口洋				
	歌舞伎鑑賞案内シリーズ義太夫時代物名 作十二選⑩伊賀越道中双六	鑑賞	上総英郎		演劇界	第41巻 第14号	①昭和58年12月 ④演劇出版社
	女形人形のかしらと型	芸談		吉田文雀	文楽	第2号	①昭和59年2月 ④「文楽」編集部 ③昭和58年12月7日渋谷区立勤労福祉会館で行わ れた人形浄るり一楽会主催講演を再録。お米のし のび足
	小松颯爽 * 生意気盛りの品定め（一）	芸談	高木浩志	(4) 竹本越 路大夫	四代竹本越路大夫		①昭和59年3月 ④淡交社 ③(6) 竹本土佐太夫の「饅頭娘」 ③平作 ③「沼津」の調子
	つばめラブコール * 感激の記憶（一）						
	語り物あれこれ * 「流しの枝」						
ブ6、252、 395	近松半二 伊賀越道中双六	解説 解説 梗概	吉永孝雄 中島葉子・吉永孝雄		浄瑠璃作品要説	<3>近松 半二篇	①昭和59年3月 ④国立劇場 ③初出＝「藝能史研究」第58号（昭和52年7月・ 藝能史研究會） ③初出＝「羽衣学園短期大学紀要」第8号（昭和 47年1月・羽衣学園短期大学）
	近松半二著作年譜と研究の手引	研究	松井今朝子				
	近松半二「独判断」の翻刻に当って		吉永孝雄				
	家の芸とカズラ語り	芸談	田結莊哲治	(4) 竹本津 大夫	文楽三代 竹本津 大夫聞書		①昭和59年4月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス35 ③ウミ字 ③(6) 竹本住太夫が(3) 竹本津太夫の代役をし た挿話 ③(i) 吉田栄三の「沼津」
	地合とことばと 襲名披露あれこれ						
	朝日会館での公演						
	第三部 文楽の芸—その伝承 * 個人の風	研究	高木浩志		文楽の芸		①昭和59年5月 ④東京書籍 ③風について ③(4) 竹本住太夫・(6) 竹本内匠太夫 ③重兵衛 ③初舞台の胡弓・ツレ弾き・調子
	第四部 文楽の芸—その修行 * 名人の芸談から・歴戦の太夫達 * 人形・創造する努力	芸談					
	第五部 文楽の芸—その表現 ● 三味線の表現—四代野澤錦糸の話						

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
572	近松半二	解説	原道生		日本古典文学大辞典	第4巻	①昭和59年7月 ④岩波書店
	岡崎と勸進帳	研究	井口洋		叙説	第9号	①昭和59年10月 ④奈良女子大学文学部国語国文学研究室
	伊賀越の仇討 — 講釈のこと — — 沼津の段のこと —	研究	松崎仁		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第5回	①昭和59年11月 ④国立劇場 ③昭和63年10月15日横浜市教育会館所演「素浄瑠璃、人間国宝竹本越路大夫・鶴沢燕三を聴く会」プログラムに再掲
	『沼津』に父への想いを込めて＝竹本津大夫に聞く＝	芸談	川崎一朗	(4) 竹本津大夫			
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結莊哲治				
	文楽の劇評 実録『伊賀越道中双六』	劇評	富岡泰		演劇界	第43巻 第1号	①昭和60年1月 ④演劇出版社 ③昭和59年11月国立文楽劇場所演
	八四年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八五 年版	①昭和60年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和59年11月国立文楽劇場所演
	一九八四年の文楽				文楽 二十世紀後 期の輝き—劇評と 文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	竹本文字大夫 この一年	芸談		(9) 竹本文 字大夫 (7) 竹本 住太夫)	文楽	第3号	①昭和60年2月 ④「文楽」編集部 ③「沼津」
	三、「寺子屋」を語って出征 * 暗雲たれこめて	解説	(7) 竹本住大夫・ 和多田勝		文楽説き語り 言 うて暮しているう ちに		①昭和60年4月 ④創元社 ③頭注部分に解説あり ③晩年の(6)竹本住大夫
	九、父住大夫のこと * 父の浄瑠璃	芸談					
	十二、言うて暮しているうちに * 明日に向けて						③現在通じにくいことば
	文楽の名作 八九 名乗り合えぬ親と子『伊賀越道中 双六』沼津	鑑賞	権藤芳一		文楽の世界		①昭和60年6月 ④講談社
252	初演の主な出演者—その解説と評判— * 初世竹本中太夫	演者	石割松太郎		国立劇場上演資料 集	252	①昭和61年5月 ④国立劇場 ③『日本人名大事典』第4巻(平凡社・昭和12年 12月刊)より、ほかに『操西東見台』(宝暦7年 刊)等の評
252	* 初世竹本染太夫						
252	* 初世竹本住太夫						

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
252	* 初世竹本男徳斎						③『日本人名大事典』第4巻（平凡社・昭和12年12月刊）より、ほかに『評判花相撲』（宝暦13年刊）等の評
252	* 初世鶴沢文蔵		倉田喜弘				③『演劇百科大事典』第4巻（平凡社・昭和36年3月刊）より、ほかに『操西東見台』（宝暦7年刊）等の評
252	* 初世吉田才治		秋葉芳美				③『日本人名大事典』第6巻（平凡社・昭和13年10月刊）より、ほかに『波のうねり鼎噺』（延享4年刊）等の評
252	* 初世吉田冠蔵						③『日本人名大事典』第6巻（平凡社・昭和13年10月刊）より、ほかに『闇の礫』（天明1年刊）の評
	人形のいろいろ② 「お谷」（岡崎の段）	解説	い／飯村隆＝撮影		国立劇場文楽公演 解説書	第77回	①昭和61年5月 ④国立劇場
	敵討ち浄瑠璃の一頂点を示す『伊賀越道 中双六』		横山正				
	鑑賞ガイド 1・2	鑑賞	岡田聰				
	「岡崎」の人形見事	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き一劇評と 文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和61年5月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」昭和61年5月14日
	文楽の<伊賀越道中双六>通し	劇評 グラ ビア			演劇界	第44巻 第7号	①昭和61年7月 ④演劇出版社 ③昭和61年5月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	文楽劇信 いかに現代性を引き出すか	劇評	富岡泰				③昭和61年5月東京国立劇場小劇場所演・昭和61 年6月国立文楽劇場所演（第3回鑑賞教室）
	昭和六十一年度 今年の演劇界の動向 意義のあった「伊賀越」通し	劇評	内山美樹子		演劇界	第44巻 第13号	①昭和61年12月 ④演劇出版社 ③昭和61年5月東京国立劇場小劇場所演
	意義のあった「伊賀越」通し—61年度の 演劇界の動向				文楽 二十世紀後 期の輝き一劇評と 文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	八六年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八七 年版	①昭和62年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和61年5月東京国立劇場小劇場所演
	一九八六年の文楽				文楽 二十世紀後 期の輝き一劇評と 文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第二章 『義経千本桜』三の切・鮓屋の段 *七「手負は顔を打眺め(九五の23)～其名も高くあらはせり(一一の23)」	芸談	(4) 竹本津大夫・津大夫を囲む研究会	(4) 竹本津大夫・竹沢団七	四世竹本津大夫芸話		①昭和61年7月 ④白水社 ③日本芸能セミナー文楽の音楽第一部(全三部)。③胡弓
	イ又年は当たり年	芸談	田結莊哲治	(2) 吉田玉五郎	文楽 人形の魅力		①昭和61年8月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス66。母鳴海
	第八章 太夫様式 六節 竹本住太夫	研究	山田智恵子		義太夫節の様式展開		①昭和61年11月 ④アカデミア・ミュージック ③井野辺潔・横道萬里雄・他＝著。「岡崎」
	六節 竹本染太夫		茂手木潔子				③「沼津」
	楽譜《伊賀越道中双六・沼津》より	採譜	井野辺潔				③(4) 竹本越路太夫・(2) 野沢喜左衛門
	楽譜《伊賀越道中双六・岡崎》より		山田智恵子				③(8) 竹本綱太夫・(10) 竹沢弥七＝演奏
	松之輔師匠と父に守られ……春琴抄の作曲を手がけて	芸談		(8) 竹沢団六(7) 鶴沢寛治	文楽	第5号	①昭和62年2月 ④文楽編集部 ③(6) 鶴沢寛治のエピソード
	文楽の通し狂言について 伊賀越道中双六 * 唐木政右衛門屋敷の段 * 沼津の段 * 岡崎の段			(5) 豊竹呂大夫			③昭和61年5月8日野口英世記念館(東京)での人形浄るり一楽会主催「呂大夫の文楽サロン」講演再録
	伊賀越敵討物「殺報天輪記」の転成	考察	上野典子		近世文芸	47号	①昭和62年11月 ④日本近世文学会
	第二話 入門まで * 飛行機の夢破れ	芸談	(5) 竹本織大夫(9) 竹本源太夫・高木浩志		織大夫夜話 文楽へのいざない		①昭和63年7月 ④東方出版 ③昭和19年7月四ツ橋文楽座の「沼津」の思い出
	一九八八年劇界回顧 文楽 「演出」確立の時期	劇評	富岡泰		演劇界	第46巻 第13号	①昭和63年12月 ④演劇出版社 ③昭和63年10月15日横浜市教育会館「人間国宝を聴く会」素浄瑠璃評(短評)
	文楽時評 文楽の『BUNRAKU』化	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	2	①昭和63年12月 ④リポレポート ③歌舞伎学会＝編。昭和63年10月15日横浜市教育会館「人間国宝を聴く会」素浄瑠璃評
	インタビュー 私の文楽修業	芸談		吉田作十郎	文楽	第7号	①平成1年2月 ④「文楽」編集部 ③平作
	伊賀越道中双六の唐木政右衛門	解説	近藤瑞男		國文學 解釈と教材の研究	第34巻 第9号	①平成1年7月 ④學燈社 ③7月臨時増刊号。古典文学作中人物事典

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	卒業論文抄 「伊賀越物」の演劇化の研究	研究	徳永淳子		成城大学近世ゼミ ナール会報近世レ ポート	8	①平成2年5月 ④近世文学ゼミナールOB会 ③立命館大学アート・リサーチセンターARCプロジェクト公開データベースに拠る
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結荘哲治		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第39回	①平成3年1月 ④日本芸術文化振興会
	関西劇信 大夫・人形バランスのとれた『沼津』	劇評	岡崎文		演劇界	第49巻 第2号	①平成3年2月 ④演劇出版社 ③平成3年1月国立文楽劇場所演（短評）
	演出不在の初春公演	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批 評	7	①平成3年6月 ④リプロポート ③歌舞伎学会＝編。平成3年1月国立文楽劇場所演
	充実の舞台「御殿」と「沼津」	劇評	安土政夫		上方芸能	108号	①平成3年7月 ④『上方芸能』編集部 ③平成3年1月国立文楽劇場所演
	国立文楽劇場主催・第五回文楽のつどい (昭和59年11月8日)より「義太夫節旅 噺」	芸談		(2) 豊竹小 松大夫・ (3) 野沢喜 左衛門	文楽	第9号	①平成3年2月 ④「文楽」編集部 ③「沼津」
	仇（敵）討とその虚実	参考	大石慎三郎		国立劇場文楽公演 解説書	第95回	①平成3年2月 ④日本芸術文化振興会
	玉男、簀助の好演光るが	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き一劇評と 文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成3年2月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」平成3年2月12日
	玉男、簀助の渾然たる人形美	劇評	福本和生		演劇界	第49巻 第3号	①平成3年3月 ④演劇出版社 ③平成3年2月東京国立劇場小劇場所演
	仇討ちもの三趣	劇評	矢野輝雄		歌舞伎 研究と批 評	7	①平成3年6月 ④リプロポート ③歌舞伎学会＝編。平成3年2月東京国立劇場小劇場所演
	「義太夫節SPレコードの調査、及び テープ化」の概要と報告（一） 第二回＝平成二年五月二六日 伊賀越道 中双六 沼津の段（コロムビア・昭和5 年）	解説	国立文楽劇場調査養 成課調査資料係		義太夫SPレコー ド集成	ニット一 篇 I	①平成3年3月 ④日本芸術文化振興会 ③文楽資料叢書4
	第一章 入門 * 杖でたたかれ	芸談	(3) 吉田簀助		頭巾かぶって五十 年 文楽に生きて		①平成3年8月 ④淡交社 ③平作の足

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第三章 簀助の世界 * 人形の色気						③お米
	* 女方の人形の型						③忍び足
プ25	昭和6年11月四ツ橋文楽座プログラム	資料			国立文楽劇場上演 資料集	25	①平成4年4月 ④日本芸術文化振興会 ③昭和14年11月四ツ橋文楽座所演
プ25	伊賀越道中双六写真	写真 資料					
プ25	昭和14年11月四ツ橋文楽座プログラム						
プ25	昭和28年5月四ツ橋文楽座公演プログラム						③見どころ聞きどころ（吉永孝雄）・「伊賀越」 の劇的構成（伊志多一郎）を含む
プ25	昭和42年3月国立劇場公演プログラム						
	伊賀越える「世界」 岡崎の段は「滅ぶべきもの」か 文楽のこと 沼津のこと	随想 芸談	野口武彦 井口洋	(5) 中村富 十郎	国立文楽劇場文楽 公演解説書	第45回	①平成4年4月 ④日本芸術文化振興会
	豊竹十九大夫にきく		森西真弓	豊竹十九大夫			
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結莊哲治				
	十九、嶋大夫が『岡崎』で力演	劇評	田結莊哲治		演劇界	第50巻 第5号	①平成4年5月 ④演劇出版社 ③平成4年4月国立文楽劇場所演
	玉男一世一代の政右衛門	劇評	安土政夫		上方芸能	112号	①平成4年8月 ④『上方芸能』編集部 ③平成4年4月国立文楽劇場所演
	劇界この一年 文楽 近松半二劇通しとその方向	劇評	内山美樹子		演劇界	第50巻 第13号	①平成4年12月 ④演劇出版社 ③平成4年4月国立文楽劇場所演
	近松半二劇通しとその方向				文楽 二十世紀後 期の輝き一劇評と 文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	「伊賀越道中双六」のお谷考	考察	北川博子		藝能史研究	118号	①平成4年7月 ④藝能史研究会
	吉田作十郎にきく	芸談	森西真弓	吉田作十郎	国立文楽劇場文楽 公演解説書	第46回	①平成4年7月 ④日本芸術文化振興会 ③『沼津』の平作
	義太夫節の楽しみ方 * 節と音を味わう	芸談	安土政夫＝構成・文	(7) 竹本住 大夫・(5) 鶴沢燕三	別冊太陽 日本の こころ	No.80 文 楽	①平成5年1月 ④平凡社 ③「沼津」のマクラ ③阪口弘之＝編
	文楽名作案内 伊賀越道中双六	解説	安田絹枝				
	伊賀越	鑑賞	上村以和於		カブキ101物語		①平成5年7月 ④新書館 ③渡辺保＝編

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	「寺子屋」談義 * 目を使いなはれ	芸談	後藤静夫	(7) 竹本住 大夫	文楽談義一語る・ 弾く・遣う		①平成5年8月 ④創元社 ③井野辺潔＝監修、義太夫研究会＝編著。(3) 竹本津太夫のレコード
	近松物と私 * 「音」を遣う		桜井弘	(5) 竹本織 大夫 (9) 竹本源太夫)			③染太夫風
	義太夫の「風」 * 染太夫の風		井野辺潔	豊竹咲大夫			③染太夫風
	「情」の芸 * 神棚の五円		山田智恵子	(4) 野沢錦 糸			③生放送・初舞台
	「彦六系」の芸 * 秘訣は腰と心		垣内幸夫	(8) 竹沢団 六 (7) 鶴 沢寛治)			③マクラの五十三の節
	もっとおもしろい文楽を * 難しい二枚目の出 * 編曲したらええ		横山正＝聞き手／蒲 生郷昭＝文章化	(2) 桐竹勘 十郎			③十兵衛 ③マクラの産み字
	焼け跡の四ツ橋文楽座―「忠臣蔵七段 目」	評伝	渡辺保		昭和の名人 豊竹 山城少掾魂をゆさ ぶる浄瑠璃		①平成5年9月 ④新潮社 ③昭和24年10月東京帝国劇場所演と昭和25年4月 四ツ橋文楽座所演の「沼津」
	法善寺の師匠―「沼津」 お谷「伊賀越道中双六」	鑑賞 芸談	(3) 吉田簀助・山 川静夫		文楽の女 吉田簀 助の世界		①平成6年3月 ④淡交社 ③青木信二＝写真。平成28年8月新書版刊
	第三部 名作の鑑賞 時代物 伊賀越道中双六	解説	藤田洋・森西真弓		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改定版、平成23年2月第3版
	伊賀越道中双六 「沼津」への郷愁	解説 鑑賞	野村喬 亀井五郎		演劇界増刊 丸本 歌舞伎	第53巻 第2号	①平成7年1月 ④演劇出版社
	文楽見どころ聞きどころ 伊賀越道中双六	鑑賞	廓正子		文楽入門 鑑賞へ のいざない		①平成7年6月 ④淡交社 ③淡交ムック。水落潔＝指導、青木信二＝写真
	伊賀越道中双六	解説	景山正隆		妹背山婦女庭訓 伊賀越道中双六		①平成7年8月 ④白水社 ③歌舞伎オン・ステージ2
	川尻清潭「芝居おぼえ帳」	演出	千谷道雄		歌舞伎 研究と批 評	16	①平成7年12月 ④歌舞伎学会 ③ (5) 竹本弥太夫の駕籠かきの表現

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	敵討説話の形成―「仮名手本忠臣蔵」から「伊賀越乗掛合羽」へ	考察	河合真澄		国語と国文学	第73巻 第5号	①平成8年5月 ④至文堂 ③東京大学国語国文学会・「国語と国文学」編集部＝編
	東海道名作舞台 湘南各駅停車の旅 * 湘南電車旅日記 * 「沼津」随想	史跡 随想	藤沢夏生＝扉・現地 写真と文 水落潔		演劇界	第54巻 第9号	①平成8年8月 ④演劇出版社
	人形一覧	資料			近松半二/江戸作者 浄瑠璃集		①平成8年9月 ④岩波書店 ③新日本古典文学大系94。平成4年4月国立文楽劇場所演の記録（かしら・鬘・付け物・小道具）
	「伊賀越道中双六」と「絵本太功記」	解説	内山美樹子				
	文楽千夜一夜 * 竹澤団六 * 吉田文雀 * 吉田作十郎 * 吉田文吾	芸談	松平盟子	(8) 竹沢団六 (7) 鶴沢寛治 吉田文雀 吉田作十郎 吉田文吾	文楽地方公演プログラム		①平成9年9月 ④文楽協会 ③昭和49年2月東京国立劇場小劇場所演の思い出 ③(3) 吉田文五郎(難波掾)のお米 ③(6) 竹本住太夫・(3) 竹本津太夫の「沼津」、(2) 桐竹勘十郎の平作 ③十兵衛について
	文楽あれやこれや	鑑賞	高木浩志		文楽地方公演プログラム		①平成9年9月 ④文楽協会
	ズバリ 文楽鑑賞のABC～XYZ 〔沼津〕	鑑賞	高木浩志		文楽地方公演プログラム		①平成10年2月 ④文楽協会
	東海道五十三次と「沼津」～道中双六の世界～	史跡	田結荘哲治				
	人形浄瑠璃『伊賀越道中双六』をめぐって	研究	山田幸平		河南論集	第4号	①平成10年3月 ④大阪藝術大学芸術学部文藝学科研究室
	文楽 第三回・四回 『伊賀越道中双六』沼津の段(一)・(二)	鑑賞	水落潔		NHK 日本の伝統芸能		①平成10年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門V
	名場面の床本…1・2 『伊賀越道中双六』沼津の段(一)・(二)	床本					
	インタビュー 五世野沢錦糸襲名	芸談		(5) 野沢錦糸	KENSYO	28	①平成10年4月 ④セクターエイティエイト ③園田学園女子大学近松研究所の日本古典演劇・近世文献目録データベース検索による
	新野沢錦糸にきく	芸談	森西真弓	(5) 野沢錦糸	国立文楽劇場文楽公演解説書	第70回	①平成10年4月 ④日本芸術文化振興会
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結荘哲治				

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	錦系襲名狂言の『沼津』に見ごたえ	劇評	田結莊哲治		演劇界	第56巻 第6号	①平成10年5月 ④演劇出版社 ③平成10年4月国立文楽劇場所演
	品格、大きさ、みごとな玉男の良弁	劇評	宮辻政夫		上方芸能	130号	①平成10年10月 ④『上方芸能』編集部 ③平成10年4月国立文楽劇場所演
	「伊賀越」の成立	解説	延広真治		国立劇場文楽公演 解説書	第123回	①平成10年5月 ④日本芸術文化振興会
	「沼津」と「岡崎」が最高	劇評	水落潔		演劇界	第56巻 第7号	①平成10年6月 ④演劇出版社 ③平成10年5月東京国立劇場小劇場所演
	錦系襲名と見取り狂言の未来	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	22	①平成10年12月 ④歌舞伎学会 ③平成10年4月国立文楽劇場・5月東京国立劇場小劇場所演
	わが愛しの文楽 忠義という名の理不尽―伊賀越道中双六―	随筆	広谷鏡子		恋する文楽		①平成11年9月 ④洋泉社
	文楽追っかけ日記 ◆五月〇日 東京・国立劇場						③観劇記
	シリーズ・文楽まめ知識③ 箏・胡弓・八雲・タカネ	参考	高木浩志		国立劇場文楽公演 解説書	第134回	①平成13年2月 ④日本芸術文化振興会
	文楽まめ知識 箏・胡弓・八雲・タカネ				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院
	三、文楽合同 *サヨナラサヨナラ	芸談	桐竹紋壽		文楽・女方ひとすじ おつるから政岡まで		①平成13年9月 ④東方出版 ③お米
	シリーズ・文楽まめ知識⑥	参考	高木浩志		国立劇場文楽公演 解説書	第137回	①平成13年12月 ④日本芸術文化振興会
	文楽まめ知識 幕				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院
	二〇〇一年下半期の文楽	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	29	①平成14年6月 ④歌舞伎学会 ③平成13年10月27日東京国立劇場小劇場「文楽素浄瑠璃の会」評
	政右衛門と十兵衛【伊賀越道中双六】	芸談	(1) 吉田玉男・山川静夫		文楽の男 吉田玉男の世界		①平成14年1月 ④淡交社 ③青木信二＝写真。平成28年8月『文楽の男 初世吉田玉男の世界』と改題して新書版刊
	文楽名作ダイジェスト 時代物 『伊賀越道中双六』	解説	広瀬依子		NHK 日本の伝統芸能		①平成14年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門9

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	特集 やさしさとしての芸能文化 編集部が選ぶ 心に沁みる名作30選 * 沼津『伊賀越道中双六』	解説	(執筆者名なし)		上方芸能	146号	①平成14年12月 ④『上方芸能』編集部
	第一章 おじいさんおばあさんが登場する作品は、私の声柄と合うてます『伊賀越道中双六◎沼津の段』こんな結構な浄瑠璃をやらせてもらって、幸せです	芸談	(7) 竹本住大夫		文楽のこころを語る		①平成15年8月 ④文藝春秋 ③七世竹本住大夫略年譜(山本千恵子=構成)付載。平成21年1月文庫版
	劇場必携演目ダイジェスト24 伊賀越道中双六	あらすじ	松平盟子		劇場に行こう 文楽にアクセス		①平成15年10月 ④淡交社
465	玉男芸話20 * 「伊賀越道中双六」	芸談	森西真弓=聞き手	(1) 吉田玉男	国立劇場上演資料集 吉田玉男文楽藝話	465	①平成16年5月 ④日本芸術文化振興会
	伊賀越道中双六						①平成19年9月 ④日本芸術文化振興会 ③国立劇場上演資料集増刊
	伝承・表現・鑑賞	鑑賞	高木浩志		文楽素浄瑠璃の会 公演解説書	第7回	①平成16年5月 ④日本芸術文化振興会
	名舞台<沼津>散策	史跡	(平三)		演劇界	第62巻 第15号	①平成16年10月(11月号) ④演劇出版社 ③特集<伊賀越道中双六の魅力>
	文楽・知識の泉⑥	演出	高木浩志		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第97回	①平成17年1月 ④日本芸術文化振興会
	初春一番の『沼津』	劇評	亀岡典子		演劇界	第63巻 第3号	①平成17年2月(3月号) ④演劇出版社 ③平成17年1月国立文楽劇場所演
	だからこそ力量が	劇評	片山剛		上方芸能	156号	①平成17年6月 ④『上方芸能』編集部 ③平成17年1月国立文楽劇場所演
	人の絆、思う心	劇評	中村桂子		演劇界	第63巻 第5号	①平成17年4月(5月号) ④演劇出版社 ③平成17年2月東京国立劇場小劇場所演
	第一章 キーワードでたどる文楽 * 太夫と三味線	鑑賞	亀岡典子		文楽さんまい		①平成17年6月 ④淡交社 ③(7) 竹本住太夫と野沢錦糸
	最終章 人間の心底を描き続ける文楽の世界 * 忠義のための悲しみ						③「沼津」
	第四章 伊賀越道中双六	梗概	河村望		経験としての物語一人形浄瑠璃の世界		①平成17年7月 ④人間の科学新社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	時代物・男の巻 伊賀越道中双六	解説	高木秀樹＝著／青木 信二＝写真		あらすじで読む 名作文楽50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本。平成27年9月加筆再構成した新版 刊
	名作文楽50 伊賀越道中双六				文楽手帖		①平成26年8月 ④KADOKAWA ③角川ソフィア文庫。『あらすじで読む 名作文 楽50』を加筆修正のうえ再構成したもの
	人間国宝七代竹本住大夫師匠に聞く	芸談		(7) 竹本住 大夫	博多座文楽公演プ ログラム		①平成17年12月 ④(財)福岡市文化芸術振興財団
	荒木又右衛門という人 ●技芸員にきく 桐竹紋壽 文楽にはこうでないといけないという役 はないんです	参考 芸談	黒部亨 広瀬依子	桐竹紋壽	国立文楽劇場文楽 公演解説書	第104回	①平成18年11月 ④日本芸術文化振興会
	文楽・知識の泉⑬	演出	高木浩志				
	天の配剤の配役	劇評	亀岡典子		演劇界	第65巻 第1号	①平成18年12月(平成19年1月号) ④演劇出版社 ③平成18年11月国立文楽劇場所演
	紅葉は花か	劇評	片山剛		上方芸能	163号	①平成19年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成18年11月国立文楽劇場所演
506	沼津の段	写真			国立劇場上演資料 集	506	①平成19年12月 ④日本芸術文化振興会 ③平成17年2月東京国立劇場小劇場所演の人形・ 大道具・小道具の公演記録写真
	文字久、師ゆずりの語り口	劇評	津田類		演劇界	第66巻 第2号	①平成20年2月 ④演劇出版社 ③平成19年12月東京国立劇場小劇場所演
	大阪の土地と文楽 文楽のセンスは大阪のセンス	芸談	わかぎゑふ		NHK 日本の伝 統芸能		①平成20年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽入門。(7) 竹本住大夫の平作
	映像の中の芸能26 『荒木又右衛門』一阪妻・三船・幸四 郎・嵐寛・右太衛門一	参考	藤井康生		上方芸能	171号	①平成21年3月 ④『上方芸能』編集部
	「沼津」住・綱で語り分け競演	劇評	津田類		演劇界	第67巻 第11号	①平成21年11月 ④演劇出版社 ③平成21年9月東京国立劇場小劇場所演
	お谷 伊賀越道中双六 岡崎	解説 芸談	青木信二・小川知 子・出上実＝写真／ 高木浩志＝文	桐竹紋壽	文楽人形の美 桐 竹紋壽写真集		①平成22年6月 ④草場書房

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	大夫の語りありてこそ—竹本住大夫師に 教えて頂いたこと	鑑賞	高遠弘美		文学	第12巻 第2号	①平成23年3月 ④岩波書店 ③特集〈人形浄瑠璃・文楽のことばへ〉
	附録「大夫の語りありてこそ—竹本住 大夫師に教えて頂いたこと」				七世竹本住大夫 限りなき藝の道		①平成25年9月 ④講談社
	文楽・知識の泉33（まるなし）	演出	高木浩志		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第124回	①平成23年10月 ④日本芸術文化振興会
	咲大夫の「菊畑」	劇評	宮辻政夫		演劇界	第70巻 第1号	①平成24年1月 ④演劇出版社 ③平成23年11月国立文楽劇場所演
	「風」と「鬼」、旅路の果てに	劇評	森田美芽・片山剛		上方芸能	183号	①平成24年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成23年11月国立文楽劇場所演
	伊賀越道中双六一文楽時代物の道行 そ の2—	梗概	森岡ハイツ・佐々 木みよ子		SOPHIA LINGUISTICA : Working Papers in Linguistics	60	①平成25年3月 ④上智大学国際言語情報研究所
	附録「大夫の語りありてこそ—竹本住 大夫師に教えて頂いたこと」	鑑賞	高遠弘美		七世竹本住大夫 限りなき藝の道		①平成25年9月 ④講談社 ③初出＝『文学』第12巻第2号（平成23年3月・岩 波書店）
	竹本住大夫インタビュー	芸談		(7) 竹本住 大夫			③「沼津」
	勘十郎の老け役二役	劇評	富岡泰		演劇界	第71巻 第11号	①平成25年11月 ④演劇出版社 ③平成25年9月東京国立劇場小劇場所演
	二十一年ぶりの通し	劇評	宮辻政夫		演劇界	第72巻 第1号	①平成26年1月 ④演劇出版社 ③平成25年11月国立文楽劇場所演
	関西の歌舞伎・文楽—真夏から師走へ—	劇評	水田かや乃		歌舞伎 研究と批 評	53	①平成27年3月 ④歌舞伎学会 ③平成25年11月国立文楽劇場所演
	勘十郎・玉女が解説する 私が好き演目ベスト10 伊賀越道中双六 唐木政右衛門	解説 芸談	吉田玉女（2）吉 田玉男		文楽へようこそ		①平成26年4月 ④小学館 ③（3）桐竹勘十郎・吉田玉女（2）吉田玉男） ＝著
	親平作 山田幸兵衛 勘十郎ぼなし その二 【襲名の段】	芸談 グラ 芸談	(3) 桐竹勘十郎/ ヒロセマリコ＝撮影		なにわの華 文楽 へのいざない 人 形遣い桐竹勘十郎		①平成26年5月 ④淡交社 ③幸兵衛
	【好きな役の段】						③平作

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第四章 円熟の時代 * 嫩会	芸談	高遠弘美・福田逸＝ 聞き手	(7) 竹本住 大夫	七世竹本住大夫 私が歩んだ90年		①平成27年11月 ④講談社 ③嫩会で「伊賀越」を出せなかったこと ③「沼津」
	* 舞台復帰、そして引退の決意 文楽思い出ばなし その二十二	芸談	山川静夫	(4) 鶴沢重 造	国立劇場文楽公演 解説書	第193回	①平成27年12月 ④日本芸術文化振興会 ③「沼津」の平作の腹切りの弾き方
	したらいかんこと、せないかんこと				山川静夫の文楽思 い出ばなし		①平成29年8月 ④岩波書店
	不条理が顔を出す『伊賀越道中双六』 (上) (中) (下)	鑑賞	橋本治		芸術新潮	第67巻 第1～3号	①平成28年1・2・3月 ④
					もう少し浄瑠璃を 読もう		①令和1年7月 ④新潮社
	三段目 艱難から希望へ * 寺子屋は好きな演目	鑑賞	(6) 豊竹呂太夫・ 片山剛		文楽・六代豊竹呂 太夫 五感のかな たへ		①平成29年3月 ④創元社 ③片山剛による鑑賞
	伊賀越物における「鑓伝授」・「奉書試 合」の上演史考	研究	金生谷達也		歌舞伎 研究と批 評	60	①平成30年4月 ④歌舞伎学会 ③特集〈近松(上) 研究編〉